

質問回答書

日本郵便株式会社信越支社
 (契約事務代理業務責任者)
 日本郵政建築株式会社
 関東支社長

高遠郵便局屋上防水修繕工事の質問に対して、以下のとおり回答します。

番号	図面番号	仕様書の頁	質問事項	回答
1	特建改-07	想定数量	直接仮設に安全手摺（落下防止柵）がありませんが、設置して作業してよろしいでしょうか。	現場説明書(技術事項)P2のイ足場等に記載のとおり安全手摺の設置は可能です。 なお、関係法令等に基づき必要な仮設を計画してください。
2			砂利敷き撤去（人力）とあります が弊社で計算したところ、約13トンになります。クレーン使用は可能でしょうか。	砂利敷き撤去については、既存アスファルト防水及び既存断熱材を損傷させないよう（人力）を想定しています。 荷卸しでのクレーン使用は可能です。 なお、発注後に変更が必要な場合には協議の対象とします。
3			改修用ドレン数量について図面番号07とA-02の平面図に差異がありますが、どちらを正として見積ればよろしいでしょうか。	図面番号 特建改-07とA-02に記載のとおり100Φ2箇所、50Φ1箇所です。
4			高遠郵便局には工事車輛を止める場所はありますでしょうか。	現場説明書(技術事項)P7のイ-2に記載のとおり、工事作業エリアを除く施設内（敷地構内及び建物内）において、工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所として利用できるスペースはありません。 工事計画上で必要となるスペースは受注者側にて対応（場外対応等）してください。
5	特 建築-03		防水改修工事 M4AS工法（仕上げが改質アスファルトシート防水）とありますが、これはM4S（仕上げが合成高分子ルーフィングシート防水（=塩ビシート防水））で宜しいでしょうか？	特記仕様書は項番に○印の付いたものを適用します。 3.4.3のM4AS工法は適用外です。 3.5.3合成高分子系ルーフィングシート防水が適用します。 また、(1)POS工法、POSI工法、S4S工法及びS4SI工法での○S-M1は誤記です。 (3)M4S工法及びM4SI工法の・S-M1としてください。

番号	図面番号	仕様書の頁	質問事項	回答
6	特建改-07		既存防水仕様がアスファルト露出、外断熱工法とあります。砂利が断熱材又は既存アスファルト防水に食い込んでいる場合は、既存防水の撤去が必要となる可能性も考えられますが、その際は別途予算が発生すると考えて宜しいでしょうか？	発注後に変更が必要な場合には協議の対象とします。
7	特建改-07		既存防水シートにアスベストが含有されている場合は別途費用と考えて宜しいですか？（既存防水の上り撤去作業、塩ビシート防水の機械固定で粉塵が発生します）	発注後に変更が必要な場合には協議の対象とします。
8	現場説明書、(参考図)	P 3	現場説明書 技術事項 1-(2)-イー(ウ)「材料、撤去材の運搬方法」に「B種：トラッククレーン等による。」「E種：登り桟橋による。」とありますが、お客様駐車場にトラッククレーン等を設置し、屋上砂利の材料出し、防水材の荷揚げは可能でしょうか。ご指示ください。	可能です。 なお、現場説明書P6ア-1-3のとおり、本工事は業務と並行して施工する『執務並行工事』です。 郵便局業務に配慮し安全計画や施工計画等について施設の管理者と十分調整してください。
9	特建改-07		4-2塗装修繕において「車庫屋根折板葺 塗装」の仕様が DP塗替え(フッ素樹脂塗料1級)下地処理RB種と記載がありますが、DPIに屋根用の仕様がございません。屋根用塗料フッ素樹脂塗料(DP同等品)とさせていただいてよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。 なお、特建築-01_4.2(キ)のとおり、同等品を使用する場合は監督社員の確認を受けて使用してください。
10			屋上防水の作業員の動線ですが、局内を通らず、外部足場で昇降すると考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。また、昇降足場は隣地境界線が近く 東側に設置するということでおよろしいでしょうか。ご指示ください。	いずれも、よろしいです。 なお、『執務並行工事』ですでので、No 8と同様、郵便局業務に配慮し安全計画や施工計画等について施設の管理者と十分調整してください。

以上